

危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(8)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物はいずれも無色または白色の固体である。【 】
- (2) 潮解した危険物は、おがくずに吸着させて回収する。【 】
- (3) 第1類の危険物の消火には乾燥砂が適している。【 】
- (4) 過マンガン酸塩類の火災には、水を放射する。【 】
- (5) 塩素酸カリウムは冷水および温水には不溶である。【 】
- (6) 塩素酸アンモニウムは常温で安定な物質である。【 】
- (7) 過塩素酸ナトリウムは水に溶けない。【 】
- (8) 過酸化カリウムは安定剤として硫黄を加えて貯蔵する。【 】
- (9) 過酸化ナトリウムは空気中の二酸化炭素を吸収する。【 】
- (10) 臭素酸カリウムは酸類との接触によって分解し、酸素を放出する。【 】
- (11) 硝酸アンモニウムはアルカリ性の乾燥剤とともに貯蔵する。【 】
- (12) ヨウ素酸カリウムの比重は3より大きい。【 】
- (13) 重クロム酸カリウムは水やエタノールに溶ける。【 】
- (14) 三酸化クロムは極めて毒性が強く、皮膚に触れると薬傷を起こす。【 】
- (15) 二酸化鉛は水やアルコールによく溶ける。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(8)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物はいずれも無色または白色の固体である。 【×】
暗褐色や黒褐色のものもある。
- (2) 潮解した危険物は、おがくずに吸着させて回収する。 【×】
可燃物に接触し乾燥すると爆発する危険性がある。
- (3) 第1類の危険物の消火には乾燥砂が適している。 【○】
乾燥砂による消火は適している。
- (4) 過マンガン酸塩類の火災には、水を放射する。 【○】
注水して消火するのが効果的である。
- (5) 塩素酸カリウムは冷水および温水には不溶である。 【×】
冷水には溶けにくい、温水には溶ける。
- (6) 塩素酸アンモニウムは常温で安定な物質である。 【×】
不安定な物質。常温でも衝撃により爆発するおそれがある。
- (7) 過塩素酸ナトリウムは水に溶けない。 【×】
水によく溶ける。
- (8) 過酸化カリウムは安定剤として硫黄を加えて貯蔵する。 【×】
硫黄は可燃物である。
- (9) 過酸化ナトリウムは空気中の二酸化炭素を吸収する。 【○】
空気中の二酸化炭素を吸収する。
- (10) 臭素酸カリウムは酸類との接触によって分解し、酸素を放出する。 【○】
酸類と接触すると分解し、酸素を放出する。
- (11) 硝酸アンモニウムはアルカリ性の乾燥剤とともに貯蔵する。 【×】
アルカリと反応するため、アルカリ性乾燥剤は使用してはならない。
- (12) ヨウ素酸カリウムの比重は3より大きい。 【○】
比重は3.9で3より大きい。
- (13) 重クロム酸カリウムは水やエタノールに溶ける。 【×】
水に溶けるが、エタノールには溶けない。
- (14) 三酸化クロムは極めて毒性が強く、皮膚に触れると薬傷を起こす。 【○】
毒性が強く、皮膚をおかす。
- (15) 二酸化鉛は水やアルコールによく溶ける。 【×】
水やアルコールには溶けない。